

RI第2820地区
土浦ロータリークラブ
創立 1958年2月14日
承認 1958年3月 7日

RI第3520地区
姉妹クラブ
台北陽明扶輪社



TSUCHIURA WEEKLY REPORT

会長 河合 隆 幹事 竹中 広夫

【URL】 <http://www.tuchiura-rc.org>

【E-mail】 office@tuchiura-rc.org

事務局：土浦市中央2-16-9（常陽銀行4F）

【TEL】 029-822-1250

【FAX】 029-824-8830

RI（国際ロータリー）の創立：1905（明治38）

日本のロータリー創立：1920（大正 9）

2007年～2008年度 国際ロータリーのテーマ



ROTARY SHARES

ロータリーは
分かちあいの心

RI会長

ウィルフリッド J. ウィルキンソン

2007～2008年度

8月第1例会プログラム

8月2日（第2439回）

- 点 鐘・ 会長
- 国歌斉唱・
- ロータリーソング・ 奉仕の理想
- ビジター紹介・ 親睦活動委員会
- 会長挨拶
- 誕生祝・ 親睦活動委員会
- 幹事報告・委員会報告
- 会 食
- 卓話「会員増強および拡大月間に因んで」
・ 佐藤 二郎 P. G
- にこにこBOX・ S. A. A
- 出席報告・ 出席委員会
- 点 鐘・ 会長
- ロータリーソング・ 我等の生業



格調高く、和やかに S. A. A

8月は会員増強および拡大月間です。

VOL. 5

先週の例会報告

1. 新入会員卓話

野中 雄二 会員

ご紹介頂きました、清水建設の野中です。本日は新入会員卓話としてお時間を頂き、ありがとうございました。この手の話は不慣れなもので、まとまりのない話になるかもしれませんが、おつきあいの程、よろしく願います。この場で入会の挨拶をさせていただいたのが4月26日でしたから、ちょうど3ヶ月経ちました。例会も何度か欠席してしまいましたが、この頃は1週間のスケジュールの中で、木曜日の例会が自然となじんできたように感じられます。

新入会員卓話としてなので、まず自己紹介を簡単に致します。私の生まれは栃木県の鹿沼市で、そこで26歳までくらししました。実家は農家で、兄が跡取りとして農業を営んでおります。両親は共に今年82歳ですが、幸いに健在です。私は昭和53年に栃木を出た後、大洗に一時期住んで、平成元年から現在に至



す、子供はおりません。私は、最初から現在の職業にあこがれていたわけではありませんが、子供の頃はそれなりに夢もありました。それは、元々天文学に興味があったせいでしょうか、科学者それもアインシュタインと言う人物にあこがれていました。なにしろ、名前の響きからして偉そうに思えましたし、「相対性理論」なるものも、中身はさっぱりわからないにしても、何となく凄そうな響きに感じました。生来のいい加減さで、科学者になるという夢はいつの間にか消えてしまいましたが、今に至るまで、学校の図書館で読みあさった本や、社会人になってからも折に触れて耳にする、「相対性理論」から導き出される不思議な世界という現象の数々に心を奪われ、物思いにふけるのが好きです。本屋にそれらを特集した雑誌等が出ていると、どういう訳か必ず買ってしまいます。光の速度は、秒速30万kmでこれを超える速さは全宇宙に存在しないとか、光速に近いスピードで飛ぶ宇宙船の中では時間がゆっくり流れるとか、重力によって光さえも閉じこめてしまう程の超高密度な領域(ブラックホール)がこの宇宙には存在し確認されている等々、現実の生活では何も意味を持たない事柄ですが、限りない空想の中で非常にロマンを感じます。あと、宇宙の広大さにも心を奪われます。先ほどと同様例えて、今度は地球を1mm直径の球体にした場合(約120億分の一に縮小することになります)、太陽は直径約12cmでCDの大きさのボール。地球から太陽までは12.5mのお隣さん。太陽系全体の直系は1.3km近くのコンビニ迄です。自分の立つ位置から12mの所に12cmのボールが浮かび、約640m離れたところを冥王星が周回しています。ところがです、これが一番近い恒星までとなると、なんと約3,500km東京からミクロネシア連邦の島へ一気に離れてしまいます。さらに銀河系の直径は約8,000万km。一番遠い銀河に至っては1兆km!!でもまだその先が有りそうです。いや一宇宙は大きく広い、この辺で止めておかないと收拾がつかなくなりそうです。まあ、素人が聞きかじりのあれこれ話していてもきりがないので、先に進みます。

そんな空想好きの純真な青年が何を思って建設会社に入ったのかは、自分自身未だに解明出来ていませんが、かれこれ35年以上建物を造る仕事を続けてきました。振り返ってみますと、入社当時から7年間生まれ故郷の栃木で勤務し、その後一時期本社勤務を経由して茨城に勤務するようになり、一時期3年間ほど長野に単身赴任しましたが、それ以外は茨城県内で勤務しています。結局生まれてからの55年間のうちのほとんどを栃木と茨城で過ごしたわけで、何かと転勤の多いサラリーマン生活からすると、ある意味相当恵まれていたのかなと思います。そういったわけで栃木を離れてからの年数の方がそれまでよりも長くなったので、今や名実ともに茨城県人になったのかと思います。茨城と栃木といいますと、同じ北関東同士で、言葉のなまりも何か似通っていますし、大きな自然災害が比較的少ない地域環境等、今の自分を顧みると、紛れもなく私の人間形成に決定的に影響を及ぼしているように思います。普段あまり自覚がないのですが、時たま録音された自分の声を聞くと、声質と話しぶりのダサさに毎度ながら愕然とします。性格的にも、素朴で人が良いと言えば聞こえが良いですが、別の言い方をすれば単純でお人好しとなり、とても天下は狙えそうにありません。まあ、こればかりは今更どうしようもなく、栃木・茨城県人の証と思っています。

さて、自分の話はこれくらいにして、私の勤務する会社や業界の最近の動きなどについて若干お話ししたいと思います。ご存じのようにこの業界はいわゆるバブル崩壊以降公共工事の減少と相まって、非常に厳しい期間を過ごしました。昨今の景気回復に伴って特に民間の設備投資額増加による建築工事受注額が伸びていますが、厳しい価格競争の中で、他産業のように史上最高益の更新等と景気の良い話は中々聞こえてきません。このような中で、業界及び会社の動向の中から、いくつか皆さんにお話ししたいと思います。

1つ目は、「BCP」についてです。BCPという言葉は既に何度か耳にされていると思いますし、中身についてもご存じの方も多と思います。※参考資料も見て下さい。事業継続計画Business Continuity Plan「企業が被災しても重要事業を中断させず、中断しても可能な限り短期間で再開させ、中断に伴う顧客取引の競合他社への流出、マーケットシェアの低下、企業評価の低下などあるいはそれに伴っての関連会社等々が操業を中止せざるを得なくなり、自動車だけでも12

万台の減産になるなど、きわめて大きな問題となってしまいました。日頃からBCPを策定し、事業の継続を一刻も早く再開させることは、企業活動の基本であるだけでなく、取引先企業やしている最終顧客である消費者への大きな責任です。そんななかで、当社におけるBCP支援の地震対策は大きく分けて四つあります。①つめは「想定地震選定システム」これはある地点において将来発生する可能性のある地震の詳細情報(例えば今後30年間における最大震度の確率)を瞬時に表示し、企業のBCP策定や耐震化計画・地震リスクの評価・被害軽減対策の立案に活用してもらえます。②つめは「総合地震防災システム」これは気象庁の「緊急地震速報」を活用したシステムで、大きな揺れがくる直前に地震情報を伝える「即時情報伝達・警報システム」と震度分布や建物被害を予測する「地震被害度予測システム」等で構成されています。③つめは「免震技術」これは、建物と地面との間に柔らかく変形する層(免震装置)を設け、地震の揺れを建物に伝わりにくくする技術です。結果、建物の揺れを低減し・建物の安全性を高めます。また、家具の転倒など二次災害を防ぎ、地震被害を軽減することが出来ます。このほかにも建物の地震対策としては、「高層建物などに各種制震ダンパーを設置して地震の揺れを吸収する制震技術」や「建物の強度・靱性＝ねばり強さを高めて耐震性能を向上させる耐震技術＝これは既存建物にも適用できます。」などがあります。④つめは「構造ヘルスマニタリング」これは、建物の構造部材に設置したセンサーなどにより、その歪みの量を常時モニタリングすることが出来ます。地震直後の建物の被害状況がすぐにその場でわかるため、建物の使用可否判断が出来ます。これらのシステムを元に、お客様の現状リスクの把握・定量化などの事前分析から災害発生時の復旧対策の実施まで最先端の建築技術でお客様をサポート致します。とまあこのような売り文句になるのですが、要は「備えあれば憂いなし」と100%ならないまでも、被害を最小限にとどめ、復旧をいかに早くするかは、常日頃から被害を出さない処置を行い、また想定される被害を出来るだけ予測し、その対策を考えておくことです。建設会社にはそういった活動をサポートするいろいろな技術が蓄積されており、助言・提案が出来ます。

2つ目は「グリーンコード」です。先日のサミットで、日本政府は、地球温暖化防止のため、2050年CO2を50%削減という目標を、来年の洞爺湖サミットにおいて、全世界的目標となるよう各国に働きかけ実現していくと発表しています。いまや、環境問題への姿勢・対策度は企業が社会的評価を高めるために、避けては通れない最重要課題となっております。我々建物を造る建設会社として、そういったニーズに応えるべく、どのような貢献が出来るかを考え、環境・危機管理・社会責任の面から建物を総合評価して、建物性能の向上と環境負荷の軽減の両立を目指す、清水建設独自の基準としてこの「グリーンコード」を策定しました。グリーンコードは、CO2削減・長寿命化・地震・異常気象・生態系への配慮など、すべてに高性能・高付加価値の建物を提案します。このグリーンコードを適用することによって、①環境負荷が少なく、災害に強い、資産価値の高い建物が実現できます。②建物の計画段階で、環境保全などに対する建物の性能が客観的に把握できます。③社会的により高レベルの責任を果たす建物として評価され、企業評価の向上にも寄与します。ではどういった評価項目で、建物を評価していくかと言いますと、次に述べる11項目になります。公的環境評価項目＝CASBEEに定められた六項目に、最近の環境動向を反映した独自の5項目を加えた環境指標です。CASBEEに定められた6つの評価項目は次の通りです。①室内環境②サービス性能③室外環境④エネルギー⑤資源・マテリアル⑥敷地外環境。これにくわわる、清水独自の5つの付加評価軸があります。①地震防災に対する評価【法定耐震強度の1.5倍・制震・免震等】(事例＝4/15の三重県中部を震源とする地震時に、県内にある大手電機メーカーS社工場が、地震の影響をほとんど受けず生産ラインがすぐに再稼働できました。これはこの建物が非常に耐震性に優れていたため、生産ラインに営業を及ぼさなかったからです。こういう建物は、当然評価が高くなります)②異常気象対策に関する評価【大型台風・竜巻、集中豪雨、豪雪、落雷】(事例＝ある設計施工マンションで、突風や竜巻にも対応できるよう通常の設計平均風速よりも厳しく、80m/秒の10分間平均風速を条件として設定し風被害を防ぐ手だてをしています)③生態系配慮【建物緑化、敷地内緑地確保、生態系保全等】がきちんとなされているかの評価④長寿命化【躯体100年、将来用途転用対応、機能的長寿命等】を念頭に強度や材質を定めているかどうかの評価⑤モニタリングシステム【構造ヘルスマニタリング、エネルギーモニタリング、修繕履歴管理システム等】に関する評価です。このシステムを適用し、評価の高い建物を造ると言うことは、最終的に建築主にとって、【建物価値を最大】【地球環境負荷を最小】にすることが出来ます。

最後に、皆さんよくご存じの、一昨年の社会的な大問題となった「耐震偽装問題」に関わる建築基準法改正についてです。耐震偽装問題を受けて、国民の命を守る建物造るプロセス(特に確認申請審査そのもの)に不信があってはならないと、「建築確認申請」制度は、つい先日の6月20日から新制度がスタートしました。国民に広がった不信を払拭し、信頼に足る制度とし世間に認められるよう、様々な面で改善されました。今回の改正のポイントは、特に設計者に対する見方を「性善説」から「性悪説」に180度転換したことだと思えます。【構造適合性判定のため複数の審査機関によるチェック、及び図面の不適合や計画変更時の取り扱いが格段に厳しくなる等々】不正を見逃さない制度になりました。以上建て前的に言えば全くその通りなのですが、この新制度、我々関係者特に設計者にとっては、相当な負担増になっています。具体的には①確認申請に対する審査期間が、従来の2倍から3倍かかるようになった②申請書類の整合性が格段に厳しくなった為、申請前チェックに要する業務量が格段に増えた③確認審査後、工事中に発生する変更が、日程的に大きなリスクとなり、何らかの代償を払わないと事実上出来なくなった等々です。簡単に言えば、普通の建物例で、今まで設計から確認申請を経て着工まで3~4ヶ月で済んでいたものが、少なくとも6~7ヶ月掛かるようになり、ただでさえ忙しい設計者が、尚更仕事に追いまわられると言うことです。もとはと言えば姉齒氏の不始末のため、こんなにも大勢の人達が苦労していると思うと、どうにも納得できません。

色々まとまりのない話をさせていただいて参りましたが、そろそろ時間が来たようです。今後とも会員として一生懸命活動に参加して生きたいと思っておりますので、皆様にはご指導方よろしくお願い致します。ご静聴ありがとうございました。

2. 幹事報告 臨時理事会（平成19年7月26日（木））

- 1 会員減少による補正予算の件
会員4名の減少による運営資金88万円の不足のため予算書を差し替えることを承認する。
- 2 臨時総会の件
8月9日に臨時総会を開催する
- 3 50周年のためのクラブ基金取り崩しの件
クラブ基金650万円のうち500万円を取り崩すことを承認された。
- 4 公式訪問時の米山、財団寄付贈呈の件
50周年記念式典時に執り行うことを承認された。
- 5 中越沖地震義援金の件
クラブ奉仕活動資金より12,400円を支出することを承認した。

ギギさん理学博士の学位を取得

前期の米山奨学生ギギさんが、筑波大学大学院博士課程を卒業しました。

先日の7月25日の卒業式に 沼尻さん、岩瀬さん、私の三人で出席し、お祝をしてみました。今回は卒業生が約90名で留学生は全体の40%位を占めていたようでした。

ギギさんからロータリークラブ並びにメンバーに対し、感謝の意がありました。9月に帰国する予定ですが、今月中にクラブへ挨拶に参りたいとのことでした。

カウンセラー 渡邊 俊樹



にこにこBOX

7/26 14,000円 累計 218,000円

◎山本君～茨城県発注工事で知事褒賞を受賞しました。工事名、つくば養護学校新築工事。

合せわて、社員が監理技術者表彰も受賞しました。

◎野中君～卓話させていただき、ありがとうございました。

※写真～高木(博)君、小倉君

メイクアップ

河合、竹中、小倉、辻（7/19 土浦RAC）

廣瀬、大槻、渡辺（俊）、高木（博）（7/22 ロ・財団セミナー）

廣瀬、佐藤、塚本（7/28 米山委員長・カウンセラー合同セミナー）

廣瀬、井坂（7/29 国際奉仕研究会） 塚本（7/26 阿見）



出席報告

会員	欠席	出席	出席免除	出席率
62名	9名	53名	11名	82.35%

誕生祝（8月）

会員

吉川 國弘君（10日）・

福田 博君（25日）・

・
・
・
・

奥様

山本 満子様（1日）

小野 礼子様（5日）

河合 文恵様（6日）

神林 節子様（13日）

山上 昭子様（17日）

円城寺 遵子様（20日）

例会予告

8月 9日 クラブフォーラム（公式訪問に向けて）

16日 休会

「土浦ロータリークラブ美術館」

白磁 「蓮」 香炉

★本日のメニュー★

冬瓜汁

豆腐サラダ

豆腐と野菜を添えて
レモン醤油ドレッシング

百合根と高野豆腐の卵

豚肉の味噌漬焼

茄子の更紗焼

白米